スクールリポート

SCHOOL REPORT 87
学校生活の一コマを紹介

今回は、友好都市アメリカ・インディアナ州ギブソン郡およびプリンストン市を訪れた中学生海外派遣団の様子をご紹介します。

●学校教育課☎23局3679

中学生海外派遣（アメリカ・インディアナ州ギブソン郡・プリンストン市）

アメリカの文化や人の温かさに触れ、交流を深めた8日間

9月25日（金）～10月2日（金）の8日間、市内の中学校3年生10名と教職員3名が、田原市の友好都市であるアメリカ合衆国インディアナ州ギブソン郡およびプリンストン市を訪問しました。

不安と期待が入り混じっていた生徒たち。しかし、笑顔で迎えたくれたホストファミリーを見ると、自然と笑顔になっていました。ある生徒が訪れた家には、テニスやバスケットボールを楽しめるスペースや、釣りやカヌーを楽しめる池まであり、大自然の中で、時間がゆったりと流れている感じでした。異国からの生徒を温かく迎え、自然に寄り添ってくれる懐の深さは、こんな環境の中で暮らしているからでしょう。

●ホストファミリーとともに

●ハイスクールの授業

●折り紙を教える生徒

訪れたハイスクールで一番強く感じたのは、自由な雰囲気の中で、個性を生かす教育がなされていることです。授業では多くの生徒に意見を求め、それをつなぎ合わせる形で進められていました。生徒全員にノートパソコンが与えられ、学習を行っていました。古い考えや制度にとらわれず常に最先端の教育を行っていることで、IT力や豊かな発想力が育つのだと思いました。田原市の生徒たちは、美術で一緒にデッサンをしたり、音楽でピアノを弾いたりと、楽しそうに授業に参加しました。

ホームステイ先では、馬に乗せてもらったり、遊園地やショッピングに連れて行ってもらったりと、さまざまな体験をしました。生徒たちは、自分の家族のことを話したり、日本の文化を紹介したりしました。折り紙と習字を紹介した生徒は、日本の文化に興味を持ってくれたことがうれしかったそうです。

日曜日の夜には、ホストファミリーと日本の生徒・先生全員で、クックアウト（野外料理パーティー）を行い、一緒に料理やスポーツをしながら交流を深めました。

ホストファミリーとの別れの朝。生徒たちは、抱き合ったり、自分の言葉で感謝の気持ちを懸命に伝えたりしていました。そして、たくさんのプレゼントやメッセージをもらい、思い出と感動を胸いっぱいに詰めて、バスに乗りました。

生徒たちは、今回の海外派遣を通して、アメリカの文化や人の温かさに触れ、いろいろな見方や価値観に気付くことができました。この体験で学んだことや感じたことを学校で広め、田原市の生徒が、より国際理解・国際交流に興味を持つことを期待しています。

●プリンストン市庁舎前で記念撮影